

第 31 回
全日本社会人馬術選手権大会
ファイナル

第 1 回
JBG チャレンジカップ

プ ロ グ ラ ム

と き: 平成 25 年 3 月 23 日(土) ~ 3 月 24 日(日)

と ころ: JRA 馬事公苑

主 催: 日本社会人団体馬術連盟

後 援: 日本馬術連盟 日本中央競馬会

協 賛: レッキス工業株式会社 (株)日本馬事普及 日本料理 吉

日本中央競馬会 助成事業

大会役員

大会会長 菅原 俊之
大会副会長 今井 雄一
大会顧問 千 玄室 三笠 貞弘 斎藤 十朗 宮川 恭一
田所 忠夫 樋口 正明 駒井 雅夫 新垣 恒則
参 与 内田 忠 盛谷 通哉 平井 雅郎 袋 敏洋 合田 功

大会委員長 高橋 宗和
審判長 高桑 浩彰
審判員 江口 昌也 大鳥井 浩一 児玉 彰 鈴木 貴晴
丹沢 太良 野川 拓三 山田 武
救護医師 飯田 茂幸
救護獣医師 月川 大樹
コースデザイナー 小谷 彰則
スチュワード 山梨 拓磨 中岡 義晴 碓井 滋敏 棟居 裕尚 金子 春起
競技委員長 孕石 智司
競技委員 森下 力 早田 恭彦 平林 小秋 山岸 広史 若松 麻里
岩井 信市 上村 優一郎 龍 家圭
団体派遣大会役員

総務委員長 中川 博健
総務 成田 菜穂子
記録 山崎 幹子 石津 智広 小林 達也 関 美雪
放送 高桑 浩彰 児玉 彰
賞典 山岸 広史 中川 博健 安部 なおみ
広報 早田 恭彦
会計 能勢 満司

運営協力 日本社会人団体馬術連盟 加盟団体
関東学生馬術協会

馬匹提供団体 中島トニアシュタール 壬生乗馬クラブ ベル・ステーブル
ノースランドライディングクラブ 湯の町乗馬クラブ

(順不同、敬称略)

大会概要

全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル

1983年の個人選手権から続く、社会人馬術における、馬場馬術競技と障害馬術競技の個人戦の最高峰のタイトルです。2012年度の全日本社会人馬術選手権大会 スプリング・全日本社会人馬術選手権大会 オータムを勝ち抜いた各競技16名の選手がタイトル獲得を目指して競い合います。

日本社会人団体馬術連盟における多くの競技会と同じように、貸与馬による競技です。慣れ親しんだ一頭の馬にうまく乗る技能だけで勝つことができるとは限りません。与えられた初めて会う馬の性格・特性を短時間で見抜き、より人馬一如に近づくことができた選手が、その馬の持つ能力を発揮し、勝利を勝ち取ることができるでしょう。

JBG チャレンジカップ

今回、新たに開催される、将来の全日本社会人馬術選手権大会や全日本実業団障害馬術大会を目指す選手層向けの競技会です。全日本社会人馬術選手権大会が開催される同じ競技場に出場、体験することで、出場選手たちの今後の馬術技能の向上に繋がる大きな一歩となることでしょう。このチャレンジカップに出場する選手が、全日本社会人馬術選手権大会 ファイナルに登場する日もそう遠くないかもしれません。

日本社会人団体馬術連盟について

本大会を主催する日本社会人団体馬術連盟は、1968年に企業、官公庁等の職域をベースとする乗馬団体が組織化され、現在に至っております。公益社団法人 日本馬術連盟の基盤を構成する「組成団体」の1つでもあります。

当連盟の会員は、現在33団体が加盟しており、その所属部員数の合計は約2,500名となっています。部員は、学生馬術界の出身者のほか、社会人になってから乗馬を始めた者も多く、平日は仕事に従事し、週末の余暇を乗馬に当てて楽しんでおり、「生涯馬術」を標榜し、日本における乗馬の普及と馬術の振興、社会貢献を目指して幅広い活動を行っています。

連盟への加入は随時、受け付けております。詳しくは、日本社会人団体馬術連盟 ホームページ: <http://www.jbg.jp/> よりお問い合わせください。

第31回 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル

第1回 JBG チャレンジカップ

大会スケジュール

エントリー数、天候により一部変更して実施する場合があります。

■ 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル ドレッサージュ (ドレッサージュアリーナ・ポケット)

平成25年 3月23日(土)	8:00	選手、団体派遣役員、馬取扱者集合 (大会本部前)
	9:00頃	馬出し、準備運動
	9:30	競技開始 (個人戦1鞍目、団体戦2鞍) ~ 11:30
	12:00頃	チャレンジカップ 馬出し、準備運動
	12:15	チャレンジカップ 競技開始 ~ 13:15
	14:00	チャレンジカップ 表彰式
平成25年 3月24日(日)	11:00	選手、団体派遣役員、馬取扱者集合 (大会本部前)
	12:00	馬出し、準備運動
	12:30	競技開始 (個人戦2鞍目)
	14:30	決勝戦
	16:00	表彰式

■ 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル ジャンピング (メインアリーナ)

平成25年 3月23日(土)	10:00	選手、団体派遣役員、馬取扱者集合 (大会本部前)
		抽選、障害設営、昼食、下見
	13:30頃	馬出し、準備運動、試走
	14:30	競技開始 (1回戦) ~ 15:30
		終了後、組み替え、下見 (~3/24 8:00)
平成25年 3月24日(日)	7:30	役員、選手、団体派遣役員、馬取扱者集合 (大会本部前)
	8:00	馬出し、準備運動、試走(4頭)
	8:30	準決勝競技開始
		終了後、組み替え、下見
	9:30	決勝使用馬匹馬出し、準備運動、試走(4頭)
	10:00	決勝競技開始 ~ 10:40
	10:40	表彰式(乗馬) ~ 10:50
	11:00	チャレンジカップ 障害組み換え
	11:30	チャレンジカップ 下見
	11:45	チャレンジカップ 馬出し、準備運動、試走
	12:00	チャレンジカップ ~ 12:30
	16:00	チャレンジカップ 表彰式(選手権馬場と合同)

第31回 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル
ドレッシング選手・補助役員・馬取扱者

No.	選手氏名	団体選手	所属団体	補助役員	馬取扱者
1	安田 英世	安田 英世	警視庁乗馬同好会	松木 慶宜	田邊 肇
2	田代 綾子	田代 綾子	警視庁乗馬同好会		菊地 巧
3	金子 春起	—	皇宮警察馬術部	棟居 裕尚	秋山 香二
4	脇田 昌宣	—	佐川急便関西支社馬術競技部		
5	筒江 麻亜耶	筒江 麻亜耶	社会人昭和大学ライディングチーム	飯田 茂幸	斉藤 容子
6	飯田 茂幸	飯田 茂幸	社会人昭和大学ライディングチーム		芹澤 友里
7	諸岡 真澄	諸岡 真澄	社会人昭和大学ライディングチーム		渡辺 脩
8	加来 賢一	加来 賢一	衆議院乗馬会	山崎 幹子	柴崎 敦史 近藤 英之
9	山岸 広史	山岸 広史	衆議院乗馬会		
10	高橋 宗和	高橋 宗和	東京都庁体育会乗馬部	関 裕二	横溝 立夫
11	—	荒井 洋子	東京都庁体育会乗馬部		周郷 裕子
12	—	木村 郁実	東京都庁体育会乗馬部		田中 郁里 平田 慎治
13	鳥塚 修	—	特別区文化体育会乗馬部	渡邊 光子 成田 菜穂子	鳥塚 鈴子
14	久保 知之	—	日本アイ・ビー・エム馬術部	川瀬 洋平 鴨田 幸紀	堀田 順子 池田 桃子
15	長妻 令子	—	日本アイ・ビー・エム馬術部		茂垣 裕明
16	市川 裕一	—	三井物産 乗馬部	市川 悠悟	安部 なおみ
17	佐伯 圭一	—	日立国際電気馬術部	青木 廣美 小林 達也	馬場 利綱 竹本 有希
18	安藤 洵	—	富士通馬術部	後藤 頼太	山川 善久
19	中岡 義晴	—	住友スリーエム馬術愛好会	中岡 義晴	
20	関 美雪	—	山田&パートナーズ	関 美雪	

第31回 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル
ジャンピング選手・補助役員・馬取扱者

No.	選手氏名	所属団体	補助役員	馬取扱者
1	森岡 裕子	皇宮警察馬術部	金子 春起	高原 遼
2	棟居 裕尚	皇宮警察馬術部		佐々木 功
3	松本 朋隆	NTT 馬術部	鈴木 貴晴	尾崎 朝子 石津 智広
4	脇田 昌宣	佐川急便関西支社馬術競技部		
5	飯田 茂幸	社会人昭和大学ライディングチーム	飯田 茂幸	斉藤 容子 龍 家圭
6	出口 太一	社会人昭和大学ライディングチーム		
7	吉川 恵美子	損害保険ジャパン馬術部		
8	小幡 圭一	トッパン・フォームズ馬術部	須藤 奏美	柳 将徳
9	津田 嘉孝	日本アイ・ビー・エム馬術部	川瀬 洋平	加納 麻優子 紫関 昭光
10	佐々木 利明	パナソニック乗馬部	佐々木 利明	大森 桂
11	鶴見 直大	パナソニック乗馬部		
12	田中 寛子	パナソニックエコソリューションズ馬術部	浜松 秀明	大島 由美子
13	佐伯 圭一	日立国際電気馬術部	小林 達也	山田 武寛
14	若松 麻里	日立国際電気馬術部		檜木 英恵
15	碓井 滋敏	富士通馬術部	脇田 芳二	新庄 麻子
16	市川 裕一	三井物産乗馬部	市川 悠悟	森下 紀子

第 31 回 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル ドレッシング 実施要綱

1. 出場資格

先に実施した予選競技会(第 31 回 全日本社会人馬術選手権大会 スプリング及び同オータム)において出場資格を取得し、大会開催時点で本連盟の会員資格を有する団体及び個人とする。

2. 団体戦出場有資格者

予選に出場した選手で所属団体内のポイント上位 3 名までとするが、1名に限り繰上がりを認める。

3. 競技方法

競技規定は、国際馬術連盟馬場馬術競技会規程第 24 版及び日本馬術連盟競技会規程平成 24 年度版を採用する。使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合、競技前・途中の如何を問わず、予備馬による再演技を行う。

(1) 1 回戦及び団体戦

ア 出場資格のある選手を、個人選手 1 ブロック 4 名からなる 4 ブロック及び団体選手からなるブロックに分け各ブロック毎に 2 頭の馬匹を割当て、各選手はそれぞれの馬匹に騎乗し、日本馬術連盟制定馬場馬術競技第 3 課目 2009B を行う。(土曜日・日曜日で行う。ただし、団体戦については土曜日のみ 2 鞍実施する。)

イ 2 鞍の合計得点率をその選手の得点率とする。

(2) 決勝戦

1 回戦の各ブロック(個人選手からなるブロックに限る)の第 1 位 4 名が 2 頭に騎乗して決勝戦を行う。

課目は、日本馬術連盟制定馬場馬術第 3 課目 2009A を課す。

4. 順位の決定

(1) 団体順位

ア 1 回戦の上位 2 名の成績により順位を決定する。

イ 上位 2 名の合計得点率の高い団体を上位とする。

ウ 得点率が同じ場合は、上位 2 名の全審判員の総合観察点の合計得点の高い団体を上位とする。

エ ウで決まらない場合は、上位 2 名の C 点審判員の総合観察の合計得点の高い団体を上位とする。

オ エで決まらない場合は最も高い得点率者の所属する団体を上位とする。

(2) 個人順位

ア 1 回戦の 2 鞍の合計得点率の高い方を上位とする。

- イ 1回戦の個人選手上位4名はさらに決勝戦を行いその合計得点率の高い方を上位とする。
- ウ 5位以下については1回戦の順位をもって決定する。
- エ 合計得点率が同じ場合は全審判員の総合観察点の合計得点の高い方を上位とする。
- オ エで決まらない場合はC点審判員の総合観察の合計得点の高い者を上位とする。
- カ オで決まらない場合は1鞍の最も高い得点率者を上位とする。

5. その他

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。
- (2) 出場者数及び馬匹、その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合もある。競技の詳細等については、当日の打ち合わせにおいて説明するので、注意すること。
- (3) 準備運動は5分以内とする。
- (4) 拍車は3.5cm以内の丸又は棒拍とする。馬匹提供団体および審判長の指示に従うこと。

第 31 回 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル ジャンピング 実施要綱

1. 出場資格

先に実施した予選競技会(第 31 回 全日本社会人馬術選手権大会 スプリング及び同オータム)において出場資格を取得し、大会開催時点で、本連盟の会員資格を有する個人とする。

2. 競技方法

競技規定は、国際馬術連盟障害飛越競技会規程第 24 版及び日本馬術連盟競技会規程平成 24 年度版(失権者の減点算出法、障害飛越競技に関する周知事項)を採用する。2 反抗失権とし、基準タイムの設定など一部ローカルルールを採用する。使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合、競技前・途中の如何を問わず、予備馬による再走行を行う。

- (1) 1 ブロック 4 名からなる 4 ブロックに分け、各ブロックに 2 頭の馬匹を割当て、各選手はそれぞれの馬匹に騎乗し、2 鞍の総合成績によって勝敗を決する。各ブロックの上位 2 名が準決勝へ進出する。
- (2) 準決勝も 1 回戦と同様に 4 名からなる 2 ブロックに分け、各ブロックの上位 2 名が決勝戦へ進出する。
- (3) 決勝戦は 4 名がそれぞれ 4 頭の馬匹に騎乗し、4 鞍の総合成績によって勝敗を決する。

3. 順位の決定方法

- (1) 選手の騎乗成績の合計により各ブロック内の順位を決定する。
- (2) 各ブロック内の順位は、次の者を上位とする。
 - ア 減点の少ない者
 - イ 減点合計が同点の場合は、各走行タイムの基準タイムとの差の絶対値の合計の少ない者
 - ウ イで決まらない場合は、減点 0 の多い者
 - エ 以上で決まらない場合は、抽選とする。
- (3) 決勝戦は FEI 規程 238 条 2-1 による。

4. その他

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。
- (2) 出場者数及び馬匹、その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合もある。競技の詳細等については、当日の打ち合わせにおいて説明するので、注意すること。
- (3) 拍車は 3.5cm 以内の丸又は棒拍とする。馬匹提供団体および審判長の指示により、これを認めないこともある。
- (4) 準備運動は 3 分 2 飛越とする。ただし、クロス障害の飛越は除く。

- (5) 選手の準備運動場における飛越回数オーバーは失権、逆標旗飛越についてはその都度罰金 3 万円を課す。
- (6) 1 回戦および準決勝で敗退した選手は、競技役員としてその後の大会運営を手伝うこと。特に 1 日目 1 回戦で敗退した選手は、必ず 2 日目も来苑し運営に参加すること。

第1回 JBG チャレンジカップ 馬場馬術競技
エントリー

所属団体	選手氏名	グレード
警視庁乗馬同好会	石原 亜由美	B'
(株)日立国際電気馬術部	馬場 利綱	C
(株)日立国際電気馬術部	青木 廣美	B'
東京都庁体育会乗馬部	周郷 裕子	B'
日本アイ・ビー・エム(株)馬術部	池田 桃子	C
計	5名	

第1回 JBG チャレンジカップ 障害馬術競技
エントリー

所属団体	選手氏名	グレード
警視庁乗馬同好会	石原 亜由美	B'
(株)日立国際電気馬術部	山田 武寛	C
社会人昭和大学ライディングチーム	中山 誓人	B'
計	3名	

第1回 JBG チャレンジカップ 実施要綱

1. 出場資格

- (ア) 大会開催時点で、本連盟の会員資格を持ち、以下の騎乗者資格を有すること。
 - ① 馬場馬術競技：日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B'グレード、Cグレード
 - ② 障害馬術競技：日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B'グレード、Cグレード
- (イ) 過去に全日本社会人馬術選手権大会や全日本実業団障害馬術大会、およびそれに相当する大会に出場経験がないこと。
- (ウ) 将来、全日本社会人馬術選手権大会や全日本実業団障害馬術大会に出場する目標を持つこと。
- (エ) 馬場馬術競技においては日本馬術連盟制定 馬場馬術競技 第2課目 2009 程度、障害馬術競技においては小障害馬術競技 70cm 程度の騎乗技能を有すること。
- (オ) 基本的な馬匹の馬装と手入れができること。
- (カ) 何らかの障害保険に加入していること。

2. 競技方法

(ア) 馬場馬術競技

① 競技方法

競技規定は、国際馬術連盟馬場馬術競技会規程第 24 版及び日本馬術連盟競技会規程平成 24 年度版を採用する。

1. 馬匹は抽選によって決定し、各選手はその馬匹に騎乗して演技を行い、その成績によって勝敗を決する。
2. 演技は、日本馬術連盟制定 馬場馬術競技 第2課目 2009 を行う。

② 順位の決定

1. 得点率の高い方を上位とする。
2. 得点率が同じ場合は全審判員の総合観察点の得点の高い方を上位とする。
3. 2 で決まらない場合は C 点審判員の総合観察の得点の高い者を上位とする。
4. 3 で決まらない場合は抽選とする。

(イ) 障害馬術競技

③ 競技方法

競技規定は、国際馬術連盟障害飛越競技会規程第 24 版及び日本馬術連盟競技会規程平成 24 年度版(失権者の減点算出法、障害飛越競技に関する周知事項)を採用する。3 反抗失権とし、基準タイムの設定など一部ローカルルールを採用する。

1. 馬匹は抽選によって決定し、各選手はその馬匹に騎乗してコースを走行し、その成績によって勝敗を決する。
2. コースは、8～10 個からなる高さ 70cm まで幅 80cm までの単一のクロスバー、

垂直またはオクサー障害で構成される。

④ 順位の決定方法

1. 減点の少ない者を上位とする。
2. 減点と同点の場合は、走行タイムの基準タイムとの差の絶対値の少ない者を上位とする。
3. 以上で決まらない場合は、抽選とする。

3. 表彰

(ア) 馬場馬術競技、障害馬術競技、それぞれ、上位 3 名を表彰する。

4. 服装

(ア) 正装(白またはベージュのキュロット、ジャケット、革長靴)が望ましいが、それに準じた服装も可とする。

(イ) 安全の為、ボディプロテクタの着用が望ましい。連盟よりボディプロテクタの貸し出しを行うので、希望する選手は当日、申し出ること。

(ウ) 障害馬術競技においては、騎乗する際には必ず 3 点で固定された顎紐のついた防護帽の着用し、顎紐をしっかりと締めることを義務とする。

(エ) 馬場馬術競技においても、障害馬術競技と同様に保護帽を着用することが望ましい。その場合、敬礼時の脱帽の省略を認める。

5. その他

(1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。

(2) 出場者数及び馬匹、その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合もある。競技の詳細等については、当日の打ち合わせにおいて説明するので、注意すること。

(3) 馬場馬術競技においては、準備運動は 4 分以内とする。

(4) 障害馬術競技においては、準備運動は 3 分 2 飛越以内とする。クロス障害の飛越は回数に含めない。

(5) 障害馬術競技において、選手の準備運動場における飛越回数オーバーは失権、逆標旗飛越についてはその都度罰金 3 万円を課す。

(6) 拍車は 2.5cm 以内の丸又は棒拍とする。馬匹提供団体および審判長の指示に従うこと。

歴 代 成 績

個人選手権 第1回(1983年)～第19回(2001年)

回次・開催年	優勝
第1回(1983年)	田坂 信
第2回(1984年)	丹沢 太良
第3回(1985年)	丹沢 太良
第4回(1986年)	松本 美紀
第5回(1987年)	細田 壮一
第6回(1988年)	松本 美紀
第7回(1989年)	小山 香
第8回(1990年)	長谷川 雄二
第9回(1991年)	小山 香
第10回(1992年)	中村 敏昭

回次・開催年	優勝
第11回(1993年)	増田 昇
第12回(1994年)	藤谷 真由美
第13回(1995年)	斎藤 智生
第14回(1996年)	加藤 有大
第15回(1997年)	石原 崇
第16回(1998年)	高橋 宗和
第17回(1999年)	石原 崇
第18回(2000年)	上村 毅
第19回(2001年)	岸 俊樹

JBG選手権大会 第1回(2002年)～第3回(2004年)

	ジャンピング	ドレッサージュ	ドレッサージュ 団体
第1回(2002年) JRA馬事公苑			
優勝	大鳥井 浩一	藤森 香織	富士通(株)乗馬部
準優勝	平林 小秋	小島 久昌	東京都庁体育会乗馬部
第3位	石原 崇	中村 善彦	伊藤忠商事相互会乗馬部
第4位	菅谷 吉樹	岸 俊樹	-
第2回(2003年) JRA馬事公苑			
優勝	森谷 祥司	小島 久昌	特別区文化体育会乗馬部
準優勝	大鳥井 浩一	鳥塚 鈴子	松下電工(株)馬術部
第3位	竹村 博行	小宅 俊継	警視庁乗馬同好会
第4位	増田 昇	長町 佳昌	-
第3回(2004年) JRA馬事公苑			
優勝	森谷 祥司	豊田 隆司	警視庁乗馬同好会
準優勝	近藤 英之	中岡 義晴	伊藤忠商事相互会乗馬部
第3位	嵯峨 友規	増田 昇	日本アイ・ビー・エム(株)馬術部
第4位	倉田 昌雄	久保 知之	-

JBG 選手権大会 第4回(2005年)～第9回(2010年)

	ジャンピング	ドレッサーージュ	ドレッサーージュ 団体
第4回 (2005年) JRA 馬事公苑			
優勝	菅谷 吉樹	豊田 隆司	警視庁乗馬同好会
準優勝	森谷 祥司	増田 昇	特別区文化体育会乗馬部
第3位	與儀 七恵	児玉 彰	富士通(株)乗馬部
第4位	山口 紗世	中岡 義晴	-
第5回 (2006年) JRA 馬事公苑			
優勝	山口 紗世	児玉 彰	警視庁乗馬同好会
準優勝	伴 茂樹	豊田 隆司	特別区文化体育会乗馬部
第3位	竹松 弘継	内門 小秋	東京都庁体育会乗馬部
第4位	松下 浩之	鳥塚 鈴子	-
第6回 (2007年) JRA 馬事公苑			
優勝	上村 優一郎	児玉 彰	富士通(株)乗馬部
準優勝	久保 知之	山口 紗世	特別区文化体育会乗馬部
第3位	三田寺 慎一	豊田 隆司	警視庁乗馬同好会
第4位	高橋 宗和	内門 小秋	-
第7回 (2008年) 山梨県 馬術競技場			
優勝	山本 宏二	児玉 彰	警視庁乗馬同好会
準優勝	仙名 翼	平林 小秋	トッパン・フォームズ(株)馬術部
第3位	久保 知之	大鳥井 浩一	日立国際電気(株)馬術部
第4位	渡邊 綾子	山邊 真一	-
第8回 (2009年) JRA 馬事公苑			
優勝	平林 小秋	豊田 隆司	富士通(株)乗馬部
準優勝	山本 宏二	中岡 義晴	警視庁乗馬同好会
第3位	鈴木 麻美	大鳥井 浩一	特別区文化体育会乗馬部
第4位	山岸 広史	山口 紗世	-
第9回 (2010年) JRA 馬事公苑			
優勝	塚田 隆彦	渡辺 脩	特別区文化体育会乗馬部
準優勝	上村 優一郎	久保 知之	パナソニック電工(株)馬術部
第3位	早川 太郎	山邊 真一	東京都庁体育会乗馬部
第4位	馬場 毅	山口 紗世	-

JBG 選手権大会 第 10 回(2011 年)～ 第 11 回(2012 年)

	ジャンピング	ドレッサーージュ	ドレッサーージュ 団体
第 10 回 (2011 年) JRA 馬事公苑 - 東日本大震災のため中止			
優勝	-	-	-
準優勝	-	-	-
第 3 位	-	-	-
第 4 位	-	-	-
第 11 回 (2012 年) JRA 馬事公苑			
優勝	大鳥井 浩一	渡辺 脩	パナソニックエコソリューションズ馬術部
準優勝	田原 孝幸	関 美雪	(株)日本馬事普及馬事研究部
第 3 位	龍 家圭	北村 美緒	東京都庁体育会乗馬部
第 4 位	渡邊 光子	安藤 洵	-

全日本社会人馬術選手権大会 第 31 回(2013 年)～

	ジャンピング	ドレッサーージュ	ドレッサーージュ 団体
第 31 回 (2013 年) JRA 馬事公苑			
優勝			
準優勝			
第 3 位			
第 4 位			

社会人 貸与馬戦の心得

ウィークエンドライダーが中心の社会人にとって、誰が乗るかわからない競技に大切な馬を貸して下さる乗馬クラブや大学は、とてもありがたいものです。また、これらの馬がいなくなれば、我々の競技会は1試合も成り立ちません。皆様が、一戦一戦大切に乘って下さることで、貸して下さる乗馬クラブや大学との繋がりも広がります。社会人だからこそ、皆様の良識と経験を頼りに競技会を開催しておりますが、以下の点につきまして特に皆様のご理解を頂きたいと思えます。

1. 馬を大切にしてください。

馬は、1回限りの使い捨て自転車ではありません。会ったこともない自分のために、力を尽くして競技してくれるのです。自分の馬と同じように扱い、丁寧に乗りましょう。その場の成績に目がくらんで、行き過ぎた騎乗をしないように気遣いましょう。

2. 貸して下さる団体の方に挨拶を。

参加費を払っていても、馬を借りることには変わりありません。馬にもそうですが、貸して下さる方にも、乗る前の「よろしくお願ひします」乗った後の「ありがとうございました」の一言を忘れずに。競技の結果で挨拶が変わるようでは社会人の名が泣きます。

3. 馬の悪口を言わない。

競技はミズモノです。常に誰かが負け、誰かが勝ちます。原因はあなたかも知れないし、馬かも知れない。単に折り合いが悪いのかも知れないし、運が悪かったのかも知れない。どんな結果でも、次へつながるものへとしたいですね。「勝てば馬のせい、負ければ自分のせい」は全世界共通の馬乗りの基本です。ましてや、借りている馬に対し悪くいうのはもってのほか。品位を疑われてしまいます。

4. 最後まで面倒を見ましょう。

馬装を目の前でしていても前でぼーっと見ていたり、汗だらけの馬をそのまま渡したりせず、競技時間の許す限りは最優先で馬の面倒を見ましょう。どこの、誰の馬でも、その時に自分が乗ったら、手入れまでが自分の責任です。できない場合には、一言、やったださる方に断りましょう。「社会人に貸すと馬ピカピカにして返してくれるんだよな」こんな言葉がいつか聞けるといいですね。

お互いに気持ちよく、楽しく競技をしたい、というのは、共通の願ひだと思えます。社会人競技のこれからの発展のためにも、皆で協力していきましょう。一人一人の小さな行動が、社会人馬術の未来へつながっているのです。

皆様のご協力に心より感謝いたします。

祝 第31回全日本社会人馬術選手権 ファイナル

祝 第1回JBGチャレンジカップ

企業の皆様 会議用仕出し弁当の配達いたします。
日本橋で39年都心の企業様を中心に、
日本橋・大手町・丸の内・永田町エリアにお届けしております。

急な会議で、困ったときなど、前日までご予約承ります。
どのお値段(1000円～)でも4個からお届け可能です。

配達エリア: 中央区・千代田区・港区全域

お問い合わせ電話番号 03-3242-1010

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-2-2 日本料理「吉」

幕の内弁当(1575円)
銀だら西京焼き・野菜の五目煮
ヒレカツ・カニクリームコロッケ
自家製玉子焼き・蒲鉾・昆布・しば漬け



日本社会人団体馬術連盟 - Japan Business Group Equestrian Federation

所在地: 〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-4 新川エフ 2 ビル 6F

TEL: 03-3297-5630 FAX: 03-3297-5636 Email: shabaren@jbg.jp

Homepage: <http://www.jbg.jp/> - 加盟団体募集中です

Twitter: http://twitter.com/JBG_Shabaren - 最新情報や馬に関するつぶやき

Facebook: <http://www.facebook.com/JBG.Shabaren> - 最新情報はこちらからも

USTREAM: <http://www.ustream.tv/channel/shabaren> - 今大会も中継しています